

八重山地方西表島船浮方言の談話資料

荻野千砂子（福岡教育大学）

竹富町西表島船浮方言（現在の地名表記は「舟浮」となっているが、話者は従来、「船浮」が正しかったと指摘するため、報告書では船浮の字を用いる）の談話資料を以下に文字起こしする。撮影と録音は、船浮集落にて2017年11月9日のシチ（節）が行われた際に行った。シチが終わり、全員が片付けをしている最中であり、広場は騒々しく、若干、物音が録音に入ってしまったことが残念ではあるが、話者二人が緊張をせず、船浮での生活について話している様子が記録できた。話者Aは、昭和15年生まれの男性、戸眞伊擴（とまい ひろむ）氏、話者Bは昭和3年生まれの女性、清水光江（しみず みつえ）氏である。

両人とも日常では共通語で話すことが多いため、談話の中でも共通語が混在する。そのため、共通語は、仮名や漢字で起こし【 】を付す。それらの共通語は、書き起こしの段階で、方言があるかを確認し、方言があった場合は、（ ）で方言形を追加説明する。また、共通語訳の際に短い注記は〈 〉で示し、長い注記は脚注に示した。船浮方言以外の琉球語には〔 〕の記号を用いた。用例の表記は、[ɸ]はhw、[tɕ]はc、[dz~z]はz ([i]の前では[ɕ]~[z])、鼻母音は、母音の後に~を付した。成節鼻音はN、促音は子音を重ね、長母音は母音を重ねた。また、無声化した母音や子音には直後に*を示す。接辞境界は-で示し、接語境界は=で示す。

- A : banu=me=joo. icibaN aa hwu*nee mura ki*missai=ra=di
 私はね 一番。ああ船浮村 すばらしいなど
 hwu*nee mura ki*missai=di umu-u munu=mee=joo
 船浮村 すばらしいと 思う ことはね。
- B : NN うん。
- A : kjuu=nu sici=jo
 今日の シチね。
- B : NN うん。
- A : moo Ndeeⁱ kamaduma=nu 【愛した】 unu kubadesaaⁱⁱ=jo.
 もう。ほら〈指し示す〉 カマドマが愛した あのクバデサーね
 juda mucu=nu [curasa] ⁱⁱⁱ ……jaakuba=nukii
 枝振りが美しい。 〈不明〉
 [mijarabi juda] ^{iv} ..anoo [nasake=nu curasa] ^v=di asi
 女の子 枝。あの。 「情けが美しい」と そういう
 【あの】 ^{vi} tunusama busi=na utawar-iru 【あの】 kunu kubadesaa=joo
 (unuu) 殿様節に 謡われている (unuu) あのクバデサーね。
- B : NN うん。
- A : unu sitaraa=na jooi=si atte maitta mir-ukara
 この下で〈シチの〉お祝いして そして 前をみたら

- kaNta=na hwuNtoo mee 【太陽】 =jo
向こうに 本当にもう (tida) ね
- B : NN うん。
- A : tida=jo tida=mee sugu
太陽ね。太陽は すぐ
- B : NN うん。
- A : ibi=nu maitta maitta=ra 【こう】 tida=du id-i ki-i=soo.
拝所の 前 前から (asi) 太陽が 出てくるでしょう。
- B : NN うん。
- A : asi=nu mura=mee=jo
こんな村はね
- B : zama=N=na mjaN.
どこにもない。〈形態素の順番は、どこ=も=に ない、となっている〉
- A : nihoNzjuu maar-abaN=joo
日本中、回っても 〈maaraNba=jo と聞こえるが maarabaN が正しい〉
- B : NN うん。
- A : hw*unee=gaanaa=du ar-u ar-aN=kaja=di.
船浮だけ あるのではないかなど。
- B : asi asi. そうそう。
- A : asi=ki banu=joo uri=du mee icibaN waa^{vii} hw*unee mura=mee ki*missai=di
だから 私ね これ、もう、一番、おお、船浮村、素晴らしいと
baa asi=du umu-iru. mina kjuu mir-abaN=joo ki*missa=soo.
私、そう思っている。 今、今日見てもね すばらしいでしょう。
- B : NN うん。
- A : kaNta mit=te mata
あそこ みて また
- B : zama=N unu...zama=N=na asi=nu si*ma mjaN=joo.
どこも あの、どこにも こんな村 ないよ。
- A : asi asi banu=joo asi umu-i=te=du=jo
そうそう。私ね そう思っただけ
- B : NN うん。
- A : aa jappari hwu*nee mura=ra=du 【だから】 【あの】 moohi=ra
ああ。やっぱり船浮村だなと。(asi=kii) (unuu) 昔から
〔ari=kara ari oru uhwu tsuki=nu ju〕 =di asi=nu uta=N a=soo.a..uri
「東から上がっていらっしやる大きな月の夜」〈八重山子守歌〉という歌もあるよね。
- B : [uhwu tsuki=nu ju] . NN
大きな月の夜。 そう。
- A : aa uri 【船浮】 utat-ta uta ar-aN=kaja=di.
ああ。あれ (hwu*nee mura) 歌ったうたではないかと。
- B : NN うん。

- A : banu=jo asi=du umu-iru=saa. 【我が】 mari zima
私 そう思っているよ。 (baa) 生まれた村。
- B : [ucina=N jaima=N]
「沖縄も八重山も」〈八重山子守歌〉
- A : hwu*nee mura
船浮村
- B : [terasj-oori]
「照らしていらっしゃる」〈八重山子守歌〉
- A : 【だから】 kju 【また】 sici=di i-i=ti ki=tti
(asi=kii) 今日 (mee) シチとって 来て
iroiro 【あの】 mi-ida=sunu aa ici=iN mir-abaN aa 【やっぱり】 hw*unee mura
色々 (unuu) 見たけど ああ いつ見ても ああやっぱり船浮村
baga mar-i zima a ki*missai=di banu=jo asi=du umu-iru.
私達の生まれた村 あ。素晴らしいと 私ね、そう 思っている。
- B : zama=N=na asi=nu sici mjaN=jo.
どこにも こんなシチ ないよ。
- A : ai.
ああ。〈ai asi ja-da =soo. あんなだったよ、という意味〉
- B : gumaa-nu sima=nu hwu*nee mura jas=sunu.
小さい村の 船浮村なのだけど。
- A : su*nee pitu mee=joo oo guma..
祖内の人ね。 はい。 小さい…
- B : jooi=di j-ukkara mjaa muuru
お祝いといたら、もう、みんな
- A : ai ai そうそう。
- B : mudur-i ki-i=kii uri=N icibaN sa*nisaru^{viii}
戻ってくるから これも一番 嬉しい。
- A : si*ma=mee mee gumai ja=su=ra 【右、左】 =mee
村は、小さいけどね (si*ma=mee=mja がよい) 右左は (右 migi、左 pidari)
200 【メートル】 ar-u=kaja mjaN=kaja=di
200 メートル 有るか 無いかと、
siNta=mee 100 【メートル】 ar-u=kaja mjaN=kaja
後ろは 100 メートル 有るか 無いか
asi=nu gumaa=nu si*ma jas=sunu aa mjaa mjaa unu
そういう小さな村だけど あのうもう、あの
kunu jooi su-u=di ju-kkara mjaa icibaN 【もう】 ki*missai
このお祝いすると いたら、もう一番 (mjaa) すばらしい
【あの】 mura ar-aN=kaja. banu umu-iru=jo.
(unuu) 村ではないか。 私は思っているよ。

- B : icibaN maitta=nu 【うみ】 ..ee. suunaa^{ix}=mee kassi kaga~=nisi pikaru=soo.
一番 前の (suunaa) えー。海は あんなに鏡のように光るでしょう。
- A : oo oo oo. はい。はい。はい。
- B : siNta=tti ih-abaN mata
後ろに行っても また
- A : ida ida=nu pa*ma=saa.
イダ、イダの 浜ね。
- B : siNta=nu ida=nu pa*ma=na=joo mjaa 【真っ白】 =si nuu=N 【汚れ】 =N nuu=N kuuN
後ろのイダの浜にね。 もう 〈ssossiru〉 で 何も汚れも何も
- A : eeee えー。
- B : ku-u-na=kii 来ないから。
- A : asi そうだね。
- B : asi=nu mura mjaa zama=N=na=N mjaN
そんな村、もう どこにもない。
- A : zama=N mjaN.
どこもない
- B : baa umu-iru.
私は思っている。
- A : ida=nu pa*ma=joo. 【あの】 ida=nu pa*ma=naa=nu ssossi=nu
イダの 浜ね。 (unuu) イダの浜の 真っ白の
- B : NN うん。
- A : 【砂】 =joo. aa moo hoNtoo. icibaN=ra.
(inooz+zi、粘土は mita+zi) ね。 ああ。もう本等。一番ね。
- B : paNkja=joo ana pu*ri=tti sa. hwutaari=si=joo
私達ね 穴掘ってね。 二人でね。
ana pur-i=tti uri=nu naka=na peer-i asip-i si-ta=dura.
穴を掘ってそれにの中に入って遊び したよね。
- A : asi=kii uma maita ih-ada=sunu kaNta=na ee ana=jo. pa*ruN^x=jo
だから その前 行ったけど、あそこに えー穴ね。パルンね。
kani=jo. 【白いかに】 pa*ruN. pa*ruN=di bu-u=soo.
カニね。(ssosi=nu kani) パルン。パルンって いるでしょう。
- B : NN うん。
- A : uri=nu ana=du ippai a-da=joo.
その 穴が いっぱいあったよ。
- B : aa そう。
- A : asi=kii moohi=mee site unu pa*ruN tu*r-i
だから 昔は もう あのパルン取り
- B : a-kkara そしたら
- A : tu*r-i ki=tti jaa=nu 【あの】 taNpiki=jo kaNta=na ir-i=ti
取ってきて 家の (unuu) 床下ね。 あそこに 入れて

- joi=nu basjoo saada=soo=tte. asi=kii unu pa*nasi=mee kuNcaN
 お祝いのときに したでしょうって。 だからこの話は 少し
- B : asi 【あの】 nuu=dja te..tegusu^{xi}? uri maas-i hwutari=si maas-i
 そう。(unuu) 何か テグス?天蚕糸を回して二人で交換して回し
- A : asi=kii
 そうだから
- B : unu pa*ruN=nu aruhwuN=nu
 あのパルンが歩くの
- A : pa*ruN=joo 【そうそう】 aruhwuN=nu
 パルンね。 (asi asi) 歩くの
- B : uriN=nu sjasiN
 その写真
- A : at=te uri=ju pu*r-u basjoo=jo. ana pu*r-i ana zama=N ka*ma=N ih-i=soo.
 そして、これを掘るときはね 穴ほり 穴は、あちこちに行っているでしょう。
 asi=kii pu*r-i=tti mi… miN=jo
 だから 掘って み、耳ね。
- B : NN うん。
- A : miN ziina=na sik-i=tti gasi gasi=tti kwa...
 耳を地面に置いて ガシガシって (人間が地面を掘っている音)。ここ、
- B : asi そう
- A : 【あの】 … 〈不明〉 ana nu=jo ana=nu basjo 【あの】
 (unuu) 穴のね、穴の場所 (kwa=nu maaru, ana=nu maaNka) (unuu)
 【方向=jo】 uri=du
 方向ね (pa*ruN ihw-u maaNka パルンが行く辺り) これが
 【探り】 =tti matta mata kaNta
 (asagur-i=tti) またまたあっち
- B : asi=du
 そうして
- A : asi si-i=tti=du tu*r-ada=joo=ra.
 そうして 取ったよね。
- B : umaa pu*r-i=tti miN aas-i
 ここ掘って、耳をあわして 〈耳を砂に当てて、の意味〉
- A : 【そうそう】 miN aas-i=tti 【そうそうそう】
 (asi asi) 耳をあてて (asi asi)
- B : maata maa=ti Ngir-ja mata maa=ti Ngir-ja maa=ti
 またここへ行くと 〈ここ掘り〉、 またこっちにいったら、こっちへ 〈こっち掘り〉
- A : raa
 ねえ。
- B : asi=du pa*ruN tu*r-i bu-da
 そうやってパルンを取っていた

- A : asi si-i=ti=du=raa. pa*ruN tu*r-ada=jo=ra. unu pa*nasi 【さっき】=jo
 そうやってね。パルンを取ったよね。 その話 (ki*sa) ね
 sjeNsjee are Ng-i=tti pa*nasi si-i bu-da=jo.
 先生 あれ、行って、話をしていたよ。
- B : aa ida=ra
 あ。イダね。
- A : uN. ida=na ih-i=tti
 そう。イダに行って、
- B : ih-i=tti ki-ta?
 行ってきた？
- A : ana=jo ar-i=kii=du uri nuu=nu ana=rjaa=di i-i=ki=du uri=joo asi=nu ana=doo=di.
 穴があるけど これ何の穴かって 言うから これはそういう穴だよって。
 【あの】basi*ma muni=si=mee pa*ruN=di=du ju-u=doo=di iz-u pa*nasi si-i bu-u sizi=ga
 (unuu)、自分の村の言葉で パルンというよ、っていうはなしをしていたわけよ
- B : NN うん。
- A : unu tu*ri kata mina=N ar-i=su=jo (笑い)
 あの取り方 今もあるよ。
- B : juru=mee suu mits-ukkara ih-i=tti oNta~ si-i=tti Ng-i=soo. unu kai=joo.
 夜は 潮がみちたら 行って、泳いで 行くよ あのカニよ。
- A : 【そうそうそう】 pata pata si-i=ra. 【早い】=saa=naa 【だから】asi=kii=du
 (asi asi asi)。ばたばたしてね。 (paisai=saa=raa) だから
 pa*ruN=di=du ju-u=djoo. atte mata mata 【変な話】jas=sunu
 パルンって言うよ。 そしてまたまた (ihwuna pa*nasi) だけど
 【ずっと】ida=jo
 ずーっとイダね <kaama ida=joo で、「イダの端」という意味になる>
- B : NN うん
- A : 【火葬場】=du a-da=soo. site
 火葬場があったよ。そして、
- B : NNN うんうんうん。
- A : 【火葬場】 火葬場
- B : mina mjaN
 今、ない。
- A : moohi=nu 【火葬場】=ga
 昔の火葬場よ
- B : muuru 【すな】=sa. duru=sa
 みんな砂 (inoo^{xiii}) よ。泥よ。
- A : ma ma maa ijaa 【あの一】
 あ、あ、あ、いやー
- B : isi isi isi mjaN=joo
 石、石、石、無いよ。

- A : uzumar-i uzumar-i=du u=sunu uzumari=du=sunu moohi=mee asi=du ja-da=dura=di.
埋まり、埋まっているけど埋まっているけど 昔はこんなであったよと
- B : ee ああ
- A : aaa 【あの火葬場】=joo
あー (asi) 火葬場ね
- B : 【火葬場】
- A : pitu jahw-u. pitu jaah-i. kasi kasi=raa agajoo. aa hwuNto
人を焼く 人を焼いて こんなあんなにね。〈返す仕草〉 あー大変、本当
【あの】hone 【でる】basjo ai 【目】=nu 【前】=ni mir-i=tti jah-i bu-da=soo.
(unuu) 骨、でるとき、 あの目の前に 見て焼いていたでしょう
- B : aa mir-i=ti jahw-u=saa.
ああ。見て焼くよ。
- A : asi そう
- B : niis-i=tti su-u=sunu uki=tti..ai
寝せてするけど 起きて、ほら
- A : asi. mata paraai pjaa pjaa
そう。またパライ〈paraai は不明〉 ぴゃーぴゃー (勢いよく手足が飛び出る)
- B : uk-i=su dura.
起きるでしょう
- A : oo はい
- B : uk-i=tti 起きて
- A : asi (笑い) ai 【あの】 kaNbaku=ga 【亡くなったら】=jo
こんなふうに ほら (unuu) かんおけね。 (maaras-ukkara) ね
pacippaci=si ugok-u wake=sa. haa 【あの】 kasi si-i=tti=du ir-i=soo
ぱたぱた動くわけよ。 えー (unuu) こんな (足を曲げて) 入れるでしょう。
uri ba=tti aa uri mir-ukkara uugwa=nu=joo. uduri ssi*ni^{xiii}
それ、バツて〈足が飛び出す〉えー。それを見ると怖いよ。 とても驚いた。
- B : ...ida=na ih-i mir-ukkara zjootoo=ga. ida=nu pama=ra
イダにいった見たら上等だよ。 イダの浜から
- A : 【だから】 asi=kii=du unu pa*nasi=miN 【一応】 sikas-i
(asi=kii) そうだから、この話も 一応、聞かせて
ass-ukara iruiru 【itta=jo】
そうだから 色々 (ja-ada=jo)
- B : mata atu=ra panasi=ga=raa
また後からの話だよ。
- A : ida=na ida=na ih-i=tti=jo. idu=nu pa*ma=na atte ui=nu kaa^{xiv}
イダにイダに行ってね。 イダの浜ね。そして上の水たまり
ih-i=tti mata ui=nu kaa=nu 【あの】 【あの】 ana=ar-u=soo. 【洗濯】 ...
行って、また上の水たまりの (unuu) (unuu) 穴があるでしょう。洗濯

- B : NNNN sikas-ita?
うんうんうん。聞かせた？
- A : iruiru sikas-itara mata 【せっけん】 sahwuN cik-iru basjoo
色々聞かせたら、また、(sahwuN) せっけんを置いていたところ
- B : NNNN うんうんうん。
- A : uri cik-iru bajoo uri uri
あれ、置くところ、あれあれ。
- B : atte maa=nu mici=du icibaN Nmaaru
そして この水が 一番美味しい
- A : Nmaaru 【そうそうそう あれ】 kakke=nu kakke=nu
おいしい。(asi asi uri) 脚気の、脚気の
- B : NN うん。
- A : 【くすり】 =di=raa
(hwusiri) ってね。
- B : a 【検査】 s-i=tti icibaN
ああ。検査して、一番って。
- A : NN うん。
- B : mee moo もうもう。
- A : 【脚気、脚気のね】
- B : 【そうそう】
- A : 【良薬が】 (kakki=nu hwusiri=du)
- A : 【含まれている】 (hwukumai=duru)
- B : 【脚気】 =nu
脚気の
- A : moohi ui=nu kaa=jo eee soo. kari ju=nu basjo
昔 上の水たまりね。 そうそう。 それ、同じ場所
- B : 【だから炭鉱にはたいている人は かけかかったらすぐ船浮にきて】
(asi=kii tanakoo=na hatarak-iru pitu=mee kakke nar-ukkara sugu hwu*nee ki-i=tti)
- A : 【ああいう風に】 【そうすぐ船浮に】
(asi=nu basjo=ra) (asi asi sugu hwu*nee=na)
【えー この井戸水 えー】 ui=nu kaa=nu mici=jo.
上の水たまりの水ね。
- 【これで脚気が治る】 【そうそうそう】 uree mina=du umuidas-i=tti
(kuri=si kakke=du nooru=di) (asi asi asi) これ 今、思い出して
- B : 〈笑い〉
- A : 【あんだけの良質な あの】 kaa 【わけさ】 . ui=nu kaa.
(unu si*koo maasi=nu kaa=ga あれだけ上等の水だ) 上の水たまりの水。
asi 【今日、また久しぶりに】
そう (kjuu mata 久しぶりに)
- B : 〈笑い〉

- 【あれは】 paNkjoo suN=di ju-u=soo (清水さんに話を戻している)
 (uri=mee) 私達、スンと言うでしょう
- B : 【ああ、そう】 (asi)
- A : 【和名】 =mee 【トキワギョリュウ】 =tti ju-u=djoo.
 和名はトキワギョリュウというよ。〈間違い。本当はコウトウシュウカイドウ〉
- B : 【トキワギョリュウ?】
- A : NN 【難しい】 =doo. uri uree 【植物の名前、も一覚えるのよ】
 うん。 (mucikasai) よ。これ。これ (植物=nu naa ubu-iru suu=ja mucikasa=daru)
 あるいは、(ubuir-u=kjaa=mee mucikasa=daru 覚えるまでは難しいよ)
 sootoo saNsoo+maari 【苦勞】 =nu daNdaN
 相当ぐるぐる周り 〈あっちこっちへ行く〉 苦勞がたくさん (awari=nu gookaci)
 …… 【もー】 【覚えるのも大変わけさ】 【方言】
 〈不明〉 もー (ubuiN=nu abunai) (si*ma muni)
 pankjaa=tte moohi=mee hoogeN=si=du muuru naraas-ita=soo
 自分なんかは 昔は方言で 〈祖母が〉 全部 (自分に) 教えたよ。
- B : NN うん。
- A : bee=nu jarabee=nu appa=du 【方言でしかいわんのに】
 うちのヤラビのアップー 〈祖母〉 は (basi*ma muni=si=du i-i bu-da 方言で言っていた)
 uri=mee nuu kii=di 【方言】
 これは何の木と (si*ma muni)
- B : paNkjaa baasaN+daa=du 〈二人笑い〉
 私達 ばあさんたちが
- A : 【そう】 (asi)
- B : 【方言】 hisir-i=kii ippai wakar-i=ga.paNkjaa cika-ada basjo mjaN^{xvi}.
 方言を知っているから たくさん分かるよ。私達 使ったときない。
- A : 【方言】 =gaanaa=du si... i-i=du bur-i=tte bee=nu appa 〈Bさんが笑う〉
 方言だけで 言っていた。 うちのおばあさんは
- A : 【あははじゃないよ】 toohja=tti uri=ba sik-i=tti
 (ahaha ar-aN=dura) あらあら困ったと、それを聞いて。
 too 【今度は和名はどうするかっていったら、もう辞典】
 さあ (too kuNdoo mee nuu=du su-u=kaja =di 辞典)
 【辞典】 asagur-i=si ki-i=tte=joo
 辞典を色々調べてきてね。
- B : NN うん。
- A : 【探して】 【よおやく】 micik-i=tti=jo.
 (mic-i ki-i=tte/mic-i ki ki=tti 探してきて) (jatto) 見つけてね。
 uri=ra=du 【西表方言】 =du 【はい。じゃ和名】 =mee nuu=sir-u
 それから (ba s*ima muni=du) はい。じゃ和名は どんな
 【科名】 =mee nuu=di=du muuru uri=ba
 科名はどんな 全部これを

- B : 【あ。そう】 (ee asi)
 A : beNkjoo sa-ada sizi=ga. asi si=tti=du mina 【60 何種類】 =nu kii=joo
 勉強したわけだ。 そうして、いま、60 何種類の木ね。
 B : NN うん。
 A : uri aci*mir-u sizi=ga.
 それを集めているわけよ。
 B : 【おー。ろくじゅういくらあった】
 (rokuzjuu amari {at-turu/aruN})
 A : oo 【65】
 (asi. rokuzjuugo)
 B : hoo. ぼー。
 A : rokuzjuugo=nu kii=jo. uri 【集めて】 【みんな名前を今】
 65 の木ね。 それ集めて (acim-i=tti/acim-i ki=tti) (muuru naa=ba mina)
 B : 【かいてる】
 (kak-i bu-u)
 A : 【いま、勉強会、毎日】 【石垣で】
 (mina beNkjookai piiNpiN) (isi*nagee=na beNkjoo si-i bu-u)
 【とまい先生さ、もう】〈二人笑い〉 【だから】
 (tumai siNsii=ga) (asi=kii)
 asi=nu munu=du=jo. asi=nu munu=du mina
 こんなものだよ。〈木のことを〉 そういうものを いま
 sika=na mitumer-ari=tti kuNdu=nu=jo
 石垣で認められて 〈isi*nagee / si*nagee 石垣のこと〉 今度のね
 unu asi=nu munu agajaa moo 【だから】
 この、そういうもの (agajaa asi=kii=du mjaa ああだからもうね)
 【あー。これ】 jarabee=nu appa=nu 【お陰もいっぱいあるな】 =di
 (uree) 祖母の (ukagi=si=du asi ippai {ar-u/at-turu}=ra)と
 baa umu-iru sizi=ga site hwu*nee mura=ra umareri ki=du
 私は思っているわけさ そして 船浮村に生まれてきたから (mari k-er-i=kii=du)
 asi=nu kutu natt-a ar-aN=kaja. 【あーぼくがしかで生まれたら】
 そういうことになったんじゃないか (aa baa (i)si*nagee=na mar-ikkara)
 【全くないさ。もう】
 (pitiN=caN=daN mjaN 一つさえもない)
 ai naa hwu*nee muna jar-i=kii=du asi nar-u=djoo. jarabee=nu appa
 ほら。ね。船浮だから、こんなになるようだよ。 ヤラビのアップー

ⁱ Ndee Ndee (相手が気づかないと、繰り返しいってもいい)

ⁱⁱ 殿様節の歌に出てくる。(歌詞 kaidagi budaN=joo.baa. (木を) かき抱いていたよ.私、カマドゥマが)

ⁱⁱⁱ 「石の屏風」の歌詞。curasa は沖縄言葉。「美しい」は船浮では kaisai という。

- iv 「石の屏風」の中の歌詞。
- v 「石の屏風」の歌詞。ここは「殿様節」と「石の屏風」の歌が混じってしまっている。石の屏風とは、船浮から白浜に行くときの山の石が屏風みたいに連なっている場所の名である。
- vi 以下、「あの一」は共通語である。unuu が船浮方言。
- vii waa 感嘆の気持ち。船浮で「waa ku*nu ka*m*ai=joo paNtari=tee ki*missai=raa おお。このいのしし、太っていてすばらしいね」というと、「waa (豚) じゃない。ka*m*ai (いのしし)」と、だじゃれを言って楽しんでたという。
- viii sanisaN ともいう。だが、決めつけるからきつく聞こえる。sanisaru...は何か続く感じで、柔らかくやさしく聞こえる。
- ix suunaa は海は全部。集落の周辺の海。波打ち際は piida という。suunaa で、深く底が見えない、黒いところは tuunaa。suuna で、浅いところは piini という。piini でもくぼんでいる、円形で深いところは、ku*moori という。suunaa の中で、大海は uhwu tuu という。戸眞伊氏は tuu は「深い」、naa は「海」を表しているのではないかという。
- x 白いかに。甲羅が 4, 5 cm で足が 5, 6 cm ぐらい。早く走るからパルン。戸眞伊氏は kani というが、清水氏は kai という。
- xi 天蚕糸のこと。魚釣るときの糸。清水氏は、パルンでなく、別の話題をしようとしていると考えられる。
- xii inoozi は 畑の砂地。ここで duru はおかしい。duru はどろりしている。mitazi と一緒。mitazi は粘土質の土の畑。
- xiii uubai ssi*sjaN は「驚いて死んだ」が直訳だが、「死ぬほど驚いた」という意味になる。
- xiv たまった所は kaa といい、流れているところは kaara という。
- xv 活用：「見せない mis-uN」「見せたらいいのに misir-jaa misaNnuba」「みせよ mis-irjaa」「見せるな misir-ina」「見せてもいいよ mis-ubaN misaN」「見せたらいいのに mis-ikkara misaNnuba」「あんたが見せるなら私も見せる ura mis-uba banu=N misiN」
- xvi 清水さんは常々「方言を使ったことはない。でも頭には入っている」という。日常、方言で話す機会はなかったということだ。そのため、清水さんが方言を話せることを知らない人もいる。